

日本美術教育学会

THE ART EDUCATION SOCIETY OF JAPAN

日本美術教育学会は、美術教育の理念を究明し、より良い教育実践の方策を探求することを目的として、昭和 26 年、京都大学文学部教授・井島勉を会長として創立されました。学術研究大会を京都大学において開催すること 27 回、その後中村二柄二代会長を中心に日本各地で開催を継続し、2003 年よりの神林恒道現会長を迎え、新しい時代に対応した本学会の刷新にとりくんできました。

その間、機関誌および会報を定期的に発刊し、会員相互の連携と研鑽を深めつつ、背骨ある美術教育者を育てて参りました。第 13 期から第 19 期まで連続して日本学術会議に登録され、その後も日本学術会議協力学術研究団体に属しています。また、平成 29 年には法人化し、一般社団法人日本美術教育学会となり、設立時代代表理事神林恒道、二代代表理事大橋 功、三代代表理事細谷僚一へと引き継がれ今日に至っています。

本学会は、美術教育の研究・実践に携わる方々をはじめとし、美術教育の重要な意義を確信し、その発展に寄与することをめざす方々によって構成されています。

現在、年に 1 回の学術研究大会を開催し、学会誌『美術教育』を刊行しています。会員は、これらの機会に研究成果を口頭発表及び論文として投稿することができます。（大会での口頭発表は、その時点で会員期間 1 年の経過を要します。研究論文は査読審査が行われます。）

また、各種セミナー、シンポジウムを開催するなど、美術教育の研究者だけでなく、教育実践に携わる方や美術や教育に関心をお持ちのすべての方々に広く門戸を広げています。

2023 年 4 月

学会の概況

1951 年（昭和 26 年）設立、1952 年（昭和 27 年 10 月）第一回学術研究大会を開催

初代会長 井島 勉 京都大学文学部教授

二代会長 中村二柄 京都教育大学教授

三代会長 神林恒道 大阪大学名誉教授

一般社団法人

設立時代代表理事 神林恒道 大阪大学名誉教授

二代代表理事 大橋 功 岡山大学教授

三代代表理事 細谷僚一 京都デザイン&テクノロジー専門学校学校長

目的：美術教育の根本理念を探求し、その実践の方策を討究すること。（会則第 2 章第 5 条）

会員数約 400 名（2023 年 3 月現在）

日本学術会議登録団体（13 期より）

学会誌 A 4 版、年 1 回発行

会報 A 4 版、年 2 回発行

学術研究大会 1951 年の設立から毎年開催

※最近の大会については学会ホームページ参照

代表理事 細谷僚一（京都デザイン&テクノロジー専門学校 学校長）

事務局 東海大学 児童教育学部 児童教育学科 新関伸也

〒259-1207 神奈川県平塚市北金目 4 丁目 1- 1

TEL 0463-58-1211（代）